



失語症の回復

失語症の回復には個人差はありますが、長期に渡って訓練を継続することで改善が認められる方が多くいます。佐智は開所して6月で3年を迎えます。その中でも回復が認められた方について紹介いたします。3年前に発症し、中等度運動性失語になったAさんは、開始当初は日常会話でも言葉が出ず、いろいろな、怒ることがありました。佐智では言葉がでないことで口数が少なく、会話にもついていけない様子でした。発症から1年、佐智を利用して半年後は、

徐々に言葉も出てきて、自分の意思を伝えることができてきました。失語症の検査（標準失語症検査 SLTA）でも点数の向上が徐々に見られてきました。現在、発症3年ですが、失語症の重症度はごく軽度失語症へ回復し、日常会話はスムーズに可能です。家族とのコミュニケーションも円滑に取れるようになってきています。発症当時はできなかった読書も行うことができ、現在は月3冊程度読むことができます。病院を退院した後も、訓練を続けていくと効果がみられます。言語聴覚士を中心に、引き続き支援を行っていききたいと思います。（ST奥村文美）

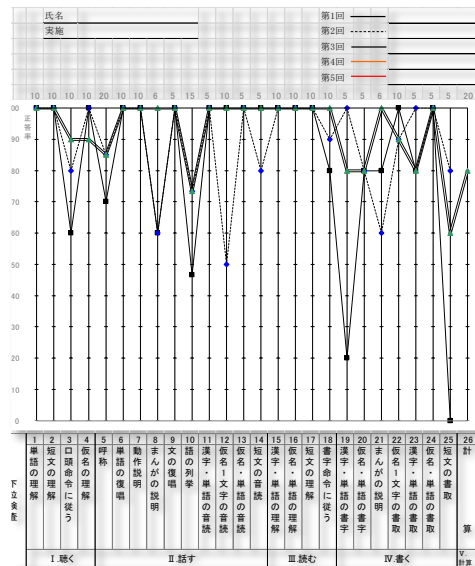
★熊本地震から学ぶもの★

四月に入職し以前は熊本で7年間病院勤務しておりました。回復期病棟や緩和ケア病棟で様々なことを経験・勉強することができました。その中でも貴重な体験として印象に残っているものは熊本地震です。熊本地震は、平成二十八年四月十四日に最大震度が六強の地震が二回、六弱の地震が三回発生しました。当時私は、家におり突き上げるような衝撃と立っていないほどの揺れを感じたのを覚えています。震災した病院や避難した中で感じたことは、歯磨きの重要性です。断水すると当たり前にできた歯磨きができなくなり、震災し一か月が過ぎると誤

嚥性肺炎（口腔内細菌が食べ物や唾液と一緒に気管や肺に入り込み発症）で入院される患者様が多くなりました。断水の中で役に立ったものは、洗口液でした。防災グッズを揃える際には、洗口液と歯ブラシ、紙コップを入れてください。（ST高橋奈々）



大人の塗り絵



お花見

3月25日に宮崎で桜の開花が発表され、今年もいよいよ桜シーズンが到来。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響により、人混みを避けて見学できる場所を探して、平和台公園に行ってきました。天気にも恵まれ、春暖かい日差しの中きれいな桜とツツジを見ることができました。また、来年も満開の桜の下で記念撮影をしましょう。



利用空き情報

現在の利用者数 (定員 18 人)

月	火	水	木	金	土
17人	15人	13人	16人	17人	11人

佐智だより NO.10(令和2年5月1日)

医療法人社団三友会 人の話くらぶ佐智

Tel:0985-89-2772 Fax:0985-89-2773

(所在地)

〒880-0024 宮崎市祇園2丁目17番地1

安心して外出できる日までもう少しの辛抱です。
感染防止しながら頑張りましょう！



職員紹介

令和二年度を迎え新たな布陣となりました。常勤の言語聴覚士が二名となり、佐智の特徴である言葉の不自由な方々への専門的なリハビリがさらに充実したものといたします。また、理学療法士も二名体制(管理者含め)となり、身体的な訓練もしっかりと行っていく予定です。どうぞ、よろしくお願いたします